

赤碕中学校自転車置場改築工事

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A - 0	タイトル	A - 7	配置図、付近案内図	A - 1 4	新設 平面図
A - 1	建築特記仕様書（ 1 ）	A - 8	部分配置図、面積表	A - 1 5	新設 立面図
A - 2	建築特記仕様書（ 2 ）	A - 9	解体 平面図	A - 1 6	新設 基礎伏図、基礎詳細図
A - 3	解体特記仕様書（ 1 ）	A - 1 0	解体 立面図	A - 1 7	新設 小屋・屋根伏図
A - 4	解体特記仕様書（ 2 ）	A - 1 1	解体 基礎伏図	A - 1 8	新設 矩計図
A - 5	解体特記仕様書（ 3 ）	A - 1 2	解体 小屋・屋根伏図		
A - 6	解体特記仕様書（ 4 ）	A - 1 3	解体 矩計図		

(有)アーク設計工房 琴浦事務所

建築工事仕様書

工事概要

1. 工事場所

鳥取県東伯郡琴浦町赤碕1922-1

2. 敷地面積

37,897.28㎡

3. 地域地区

都市計画地域(○内・外)市街化調整区域(・内・外)

4. 建物概要

層号	名称	工事種別	構造	階数	建築面積(㎡)	延べ面積(㎡)
13-A	自転車置場	新築	鉄骨造	1	32.05㎡	32.05㎡
13-B	自転車置場	新築	鉄骨造	1	32.05㎡	32.05㎡
13-C	自転車置場	新築	鉄骨造	1	32.05㎡	32.05㎡

建築工事仕様

1. 共通仕様

(図中の仕様書適用番号は平成31年版であるが内容は令和4年版に準ずる)

(1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)令(令和4年)」、(以下、「標準仕様書」という。)による。

ただし、アスベスト成形板の処理等は、国土交通省官房官庁営繕部制定「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)平成31年版」(以下「改修標準仕様書」という。)による。(鳥取県条例を考慮する)

(2) 請負者は、建築基準法に基づき完了検査(中間検査含む)の検査には、特定行政庁(建築主事等)が求める検査に必要な資料等(報告書等)を用意する。

(3) 電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。

2. 特記仕様

(1) 項目は番号に印のついたものを適用する。

(2) 特記事項は○印のついたものを適用する。

○印のつかない場合は、印のついたものを適用する。

○印と○印のついた場合は共に適用する。

(3) 項目に記載の()内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。[]内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

(4) 図印は、「図等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)の特定調達品目を示す。判断基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針(令和2年2月7日変更閣議決定)」(環境省のホームページからダウンロード可能)による。

(5) 関係法令(条例を含む)の改正等により、工事内容が法令等に抵触する恐れがあることを認識した場合には、その対応等について、監督職員と協議を行うものとする。

(6) 材料及び製造所等の記載は順不同である。

1一般共通事項

2技能士(1.5.2)

4) 本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の - の事項を満たすものとし、その証明となる資料(外部機関が発行する証明書の写し)を監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承認を受けた場合はこの限りではない。

品質及び性能に関する試験データを整備している。

生産施設及び品質の管理を適切に行っている。

安定的な供給が可能である。

法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得している。

製造又は施工の実績があり、その信頼性がある。

販売、保守等の営業体制が整えられている。

5) 製造業者等に関する資料の提出を定める材料

床型特用鋼製デッキプレート	オーバーヘッドドア
鉄骨柱下無収縮モルタル	防水剤
無収縮グラウト材	現場発泡断熱材
乾式保護材	フリーアクセスフロア
既成調合モルタル	可動間仕切
ルーフドレン	移動間仕切
吸水調整材	トイレプース
アルミニウム製建具	煙突用成形ライニング材
鋼製建具	天井点検口
鋼製軽量建具	床点検口
ステンレス製建具	グレーチング
錠前類	屋上緑化システム
クロウゼ類	トブライト
自動扉機構	エボキシ樹脂
自閉式上り引り機構	ポリマーセメントモルタル
重量シャッター	既成調合自地材
軽量シャッター	鋼鉄製ふた

下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う。
(技能士：職業能力開発促進法による一般技能士又は第一等級の資格を有する者)
また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札(下図参考)を常時着用する。

工事種目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	・ とび作業
鉄筋工事	鉄筋施工	・ 鉄筋組立作業
コンクリート工事	型枠施工	・ 型枠工事作業
	コンクリート圧送施工	・ コンクリート圧送工事作業
鉄骨工事	鉄工	・ 構造物鉄工作業
	とび	・ とび作業
	塗装	・ 建築塗装作業
コンクリートブロック・ALCパネル工事	ブロック建築	・ コンクリートブロック工事作業
	エーエルシーパネル施工	・ エーエルシーパネル工事作業
防水工事	防水施工	・ アスファルト防水工事作業 ・ フレタングム系塗膜防水工事作業 ・ アクリルゴム系塗膜防水工事作業 ・ 合成ゴムシート防水工事作業 ・ 塩化ビニル系シート防水工事作業 ・ セメント系防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ 改質アスファルトシートーチ工法防水工事作業 ・ FRP防水工事作業
石工事	石材施工	・ 石張り作業
タイル工事	タイル張り	・ タイル張り作業
木工事	建築大工	・ 大工工事作業
屋根及びとい工事	建築板金	・ 内外装板金作業
	スレート施工	・ スレート工事作業
金属工事	内装仕上施工	・ 鋼製地下工事作業
	建築板金	・ 内外装板金作業
左官工事	左官	・ 左官作業
建具工事	サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ ガラス工事作業
	自動ドア施工	・ 自動ドア施工作業
	建具製作	・ 木製建具加工作業
	ガラス用フィルム施工	・ 建築フィルム作業
カーテンウォール工事	カーテンウォール施工	・ 金属製カーテンウォール工事作業
	サッシ施工	・ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	・ ガラス工事作業
塗装工事	塗装	・ 建築塗装作業
内装工事	内装仕上施工	・ プラスチック系床仕上げ工事作業 ・ カーベット系床仕上げ作業 (2級及び3級が系仕上上げ工事作業を含む) ・ ボード仕上げ工事作業
	表装	・ 壁装作業
排水工事	配管	・ 建築配管作業
舗装工事	路面表示施工	・ 消解バイントマーカー工事作業 ・ 加熱バイントマーカー工事作業
橋梁工事	造橋	・ 造橋工事作業
製工事	製製作	・ 製製作作業
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	・ 樹脂接着剤注入工事作業
	左官	・ 左官作業
	タイル張り	・ タイル張り作業

《技能士名札参考図》

1一般共通事項

9化学物質の濃度測定(1.5.9)

10完成写真

11完成時の提出図書(1.7.1-3)

12施工図及び施工計画書(1.7.2)

13設備工事との取合い

14設計GL

15耐荷重及び耐力

16安全に関する資料(1.7.3)

17火災保険等

18環境配慮

19建設リサイクル法

20鳥取県福祉のまちづくり条例

21景観形成条例

22省エネ法

2仮設工事

1足場その他(2.2.4)

2監督職員事務所等(2.3.1)

3表示板

4工事用水

5工事用電力

6工事用仮設物

7工事現場のイメージアップ

「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置き方式又は(3)手すり先行専用方式により行う。

設ける
現場に設置する備品等は、現場説明書の施工条件明示事項による。

○ 解体、新築工事に使用

○ 工事表示板

○ お願い表示板

記入要領
1. 書体は角ゴシックとする。
2. お願い表示板は平易な表現及び内容とし、監督職員が指示するものとする。

構内既存の施設
利用できない
・ 利用できる(有償・無償)

構内既存の施設
利用できない
・ 利用できる(有償・無償)

構内既存の施設
○ 利用できない
・ 利用できる

下記のものを監督職員に提出する。

1) 測定対象室のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。

・ バシクロベンゼンを追加して分析を行う

測定対象室()

2) バッシプ型採取機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。

30分間換気

測定対象室のすべての窓及び扉(通り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む)を開放し、30分間換気する。

5時間閉鎖

の、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、通り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。

測定

イの状態のままで測定する。

ロ 測定時間は、原則として24時間とする。ただし、工程等の都合により、24時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定時間帯の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。

ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。

分析

測定対象化学物質を採取したバッシプ型採取機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。

その他

監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。

区分	分類・規格	撮影箇所	部数	備考
工事記録写真	カラーサービscal	各工種の工程毎	1部	
完成写真	カラーサービscal	・ 内部 ・ 外部	2部	
・	カラーキャビネリ	・ 内部 ・ 外部	2部	外部6(2枚×3)ヶ所
・ パネル	カラー	・ 四切 ・ 半切 ・ 全紙	2部	
・				

○ 電子データ提出[工事記録写真] (○要・不要)
○ 電子データ提出[完成写真] (○要・不要)

下記のものを監督職員に提出する。

原図A1版又はA2版(設計図の第2原図訂正不可) 1部

○ CADデータ 1式

原図の大型コピー(白図)の2つ折製本 2部

縮小版2つ折製本(A4版) 2部

・ 複写 縮小版A3B4焼 部

完成図の種類及び内容

○ 案内図・配置図・面積表

○ 平面図

○ 立面図

・ 断面図

・ 仕上表

・ 構造図

・ その他

・ 原図ケース・製本図面の背景紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付ける。

提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。

設備工事との取合い		建築	電気	機械
・ コンクリート壁、床、梁貫通部	補強		・	・
	スリーブ・箱入れ	・		
・ 鉄骨造の開口及び補強			・	・
・ 照明器具・幹線等の吊りボルト用インサート(釘処理共)		・		
・ 軽量鉄骨壁のボックス取付用下地		・		・
・ 増設分電盤・端子盤・フルボックスの	低枠	・		
低枠及び埋込部分の補強	補強		・	・
・ O Aフロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補強		・		・
・ 埋込型機器取付用の天井	切込	・		
壁の切込加工、下地の補強	補強		・	・
・ 自動開閉装置を取付ける防火戸の切込み、補強及びドアクローザ、フロアヒンジ		・		・
・ 電気室、自家発電室などの基礎及びビット(蓋を含む)		・	・	
・ テレビアンテナ	基礎		・	・
	アンカーボルト	・		
・ 天井点検口			・	・
・ 機器類のコンクリート基礎	屋内・屋外設置	・		
	屋上設備		・	・

図示による ()

建築基準法に基づき定められた区分等

基準風速 Vo = m/s

地表面粗度区分

積雪区分 平成12年5月31日 建設省告示第1455号 別表()

下記のものをA4版ファイルにて監督職員に提出する。

○ 保証書

○ 官公署提出書類(保守に必要とするもの)

○ 建築物の保守に関する説明書、点検案内書

・

工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。(保険の加入期間は、工事完成引き渡しまで(概ね工期+21日)とする。)

鳥取県公共事業環境配慮指針 対象工事 ・ 非対象工事

対象工事 ・ 非対象工事

対象工事 ・ 非対象工事

対象工事 ・ 非対象工事

対象工事 ・ 非対象工事

対象工事 ・ 非対象工事

HEAD

CHIEF

DRAW

TITLE

赤碕中学校自転車置場改築工事

建築工事仕様書(1)

NO SCALE

ARCH

有限会社

アーク設計工房

一級建築士 第262287号 杉嶋 信次

TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599

琴浦事務所

NO.

A - 1

DRAWING NO.

2023.1

3

土木工事

1

埋戻し及び盛土
(3.2.3)

2

建設発生土の処理
(3.2.5)

3

山留めの撤去
(3.3.3)

4

地業工事

5

砂利地業
(4.6.2-3)

6

捨てコンクリート地業
(4.6.4)

5

鉄筋工事

1

鉄筋の種類
(5.2.1)

2

溶接金網
(5.2.2)

3

圧接完了後の試験
(5.4.9)

4

鉄筋の継手
(5.3.4)

5

基礎梁主筋の継手

6

鉄筋の定着長さ
(5.3.4)

7

鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網含む）
(5.3.5)

6

コンクリート工事

1

コンクリートの種類及び強度
(6.2.1-4)

2

レディーミクストコンクリート
(6.2.1)(6.4.1-2)

3

セメントの種類
(6.3.1)

4

骨材の種類
(6.3.1)(6.5.4)

5

混和材料
(6.3.1)

6

無筋コンクリート
(6.3.1)(6.14.1-3)

7

ひび割れ誘発目地
打継目地
(6.6.3)(6.8.2)
位置
(9.7.3)(11.1.3)

8

コンクリートの仕上り
(6.2.5)(6.6.6)
(6.8.3)

9

打増し厚さ
(6.8.2)

10

型枠
(6.8.2-4)

11

コンクリートの試験
(6.9.1-6)

22

舗装工事

1

路床
(22.2.2、3、5)
(表22.2.2)

2

路盤
(22.3.2、3、5)
(表22.3.1)

3

アスファルト舗装
(22.4.2-6)
(表22.4.4)

4

コンクリート舗装
(22.5.2-4、6)

5

カラー舗装
(22.6.2-4)

路床の材料		(22.2.2、3、5)(表22.2.1)	
種別	材料	厚さ(mm)	
・盛土	・A種・B種・C種・D種 ・建設汚泥から再生した処理土[G]	・図示	・
・凍上抑制層	・再生クラッシャーラン[G]・クラッシャーラン・切込み砂利・砂	・図示	・
・フィルター層	・砂	・図示	・
路床安定処理			
・添加材料による安定処理			
種類	・普通ポルトランドセメント・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰()・消石灰()		
添加量	kg(目標CBR・3以上・)		
目標CBRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理土のCBR試験・			
・ジオテキスタイル			
単位面積質量	・60g/m ² 以上・		
厚さ(mm)	・0.5~1.0・		
引張強さ	・98N/5cm(10kgf/5cm)以上・		
透水係数	・1.5×10cm/sec以上・		
試験			
砂の粒度試験	・行う・行わない		
路床土の支持力比(CBR)試験	・行う・行わない		
路床締固め度の試験	・行う・行わない		
現場CBR試験	・行う・行わない		

路盤の厚さ		○図示・	
路盤材料			
種類			
砕石	・クラッシャーラン ・粒度調整砕石		
再生材	○クラッシャーラン[G] ・粒度調整砕石[G] ・クラッシャーラン鉄鋼スラグ[G] ・粒度調整鉄鋼スラグ[G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ[G]		
路盤締固め度の試験			
行う	・行わない		

アスファルト舗装の構成及び厚さ		図示・	
材料			
アスファルト	○再生アスファルト[G]・ストレートアスファルト		
骨材	・道路用砕石 ○アスファルトコンクリート再生骨材[G]		
加熱アスファルト混合物等の種類			
区分	地域	種類	
表層	・一般地域	・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13)	
	・寒冷地域	・密粒度アスファルト混合物(13F)	
シールコートの施工			
・行う・行わない			
試験			
アスファルト混合物等の抽出試験			
・行う・行わない			
舗装の平たん性			
通行の支障となる水たまりを生じない程度			

コンクリート舗装の構成及び厚さ			
舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
コンクリート舗装	車路及び駐車場	・図示	・図示・
	歩行者用通路	・図示	・
縁部立下り方法等			
・図示			
材料			
コンクリート	・標準仕様書表22.5.1による・		
早強セメント	・使用する・使用しない		
注入目地材料	低弾性タイプ・高弾性タイプ		
目地			
種類、間隔、構造	標準仕様書表22.5.2及び図22.5.3による・図示		

カラー舗装の構成及び厚さ			
カラー舗装の種類	部位	構成	厚さ(mm)
・加熱系	・アスファルト混合物	・車路	・図示
	・石油樹脂系混合物	・歩行者用通路	
・常溫系	・		・図示
常溫系カラー舗装の着色部の下部			
・アスファルト舗装・コンクリート舗装			
材料			
添加する材料	・着色骨材()・自然石()		
配合			
結合材に石油樹脂を使用する場合の顔料添加量	・		
ニート工法及び塗布工法の配合等	・		

赤碕中学校自転車置場改築工事

建築工事仕様書(2)

NO SCALE

有限会社 アーク設計工房
一級建築士 第262287号 杉嶋 信次
TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599

NO. A - 2
DRAWING NO. 2023.1

建築物解体工事仕様書

1. 工 事 概 要

1. 工 事 場 所
- 鳥取県東伯郡琴浦町赤碕1922-1
2. 敷 地 面 積
- 3 7 , 8 9 7 . 2 8 m²
3. 地 域 地 区
- 都市計画地域（☒内☐外）市街化調整区域
用途地域等（☐指定なし☐）

4. 建 物 概 要

番号	名 称	工事種別	構 造	階数	建築面積 (m ²)	延べ面積 (m ²)
1	自転車置場	解体・撤去	鉄骨造	1	106.54m2	106.54m2

2. 建築解体工事仕様

1. 共通仕様（図中の仕様書適用番号は平成31年版であるが内容は令和4年版に準ずる）
- （1）図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）」（以下、「解体共通仕様書」という。）による。ただし、解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下、「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。
- （2）請負者は、建築基準法に基づく完了検査（中間検査含む）の検査には、特定行政庁（建築主事等）が求める検査に必要な資料等を用意する。
- （3）電気及び機械設備工事を本工事に含む場合、電気及び機械設備工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
2. 特記仕様
- （1）項目は番号に印のついたものを適用する。
- （2）特記事項は☒印のついたものを適用する。
☒印のつかない場合は、☐印のついたものを適用する。
☒印と☐印のついた場合は共に適用する。
- （3）項目に記載の< >内の表示番号は、解体共通仕様書、[]内の表示番号は改修標準仕様書、（ ）内の表示番号は標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
- （4）☒印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」（以下「グリーン購入法」という。）の特定調達品目を示す。判断の基準は「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和2年2月7日閣議決定）」（環境省のホームページからダウンロード可能）による。
- （5）各仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例を含む）抵触する場合には、関係法令等の遵守[1 . 1 . 1 3]の規定を優先する。
- （6）材料及び製造所等の記載は順不同である。

章		項 目	特 記 事 項
① 一般 共通 事項	①	適用基準等	<div><div><div>○</div><div>建築工事標準詳細図（令和４年版）</div><div>国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修（以下「標準詳細図」という。）</div></div><div><div>○</div><div>建築改修工事監理指針（令和元年版）</div><div>国土交通省大臣官房官庁営繕部監修</div></div><div><div>○</div><div>工事写真撮影ガイドブック建築工事編及び解体工事編（平成３０年版）</div><div>国土交通省大臣官房官庁営繕部監修</div></div><div><div>○</div><div>建築工事監理指針（最新版）</div><div>国土交通省大臣官房官庁営繕部監修</div></div></div>
	②	官公庁その他への手続 <1.1.3>	工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続き、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする。
	3	電気保安技術者 <1.3.3>	工事現場におく電気保安技術者は、鳥取県総務部営繕工事自家用電気工作物保安規定第５条に定める工事担当技術者の職務を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工作物の保安の業務を行うものとする。
	④	工事安全計画書 <1.3.6>	建築工事安全施工技術指針及び建設公衆災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。
	⑤	発生材の処理等 <1.3.10>	<div><div><div>・</div><div>引渡しを要するもの（</div><div>）</div></div><div><div>・</div><div>特別管理産業廃棄物（</div><div>）</div><div><div>処理方法（</div><div>）</div></div><div><div>・</div><div>現場において再利用を図るもの（</div><div>）</div></div><div><div>○</div><div>再生資源化を図るもの</div></div><div><div>○</div><div>コンクリート塊</div><div>○</div><div>アスファルトコンクリート塊</div><div>○</div><div>建設発生木材</div></div><div><div>・</div><div>P C B 含有シーリング材の処理</div></div><div><div>・</div><div>第一次判定</div><div>現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否を判定する。</div><div>採取箇所数</div><div>計</div><div>箇所</div><div>採取箇所</div><div>図示</div></div><div><div>・</div><div>第二次判定</div><div>専門分析機関にて P C B 含有量の分析を行う。</div><div>分析個数</div><div>計</div><div>箇所</div></div><div><div>・</div><div>除去処理工事</div><div>除去範囲</div><div>図示</div></div><div><div>・</div><div>せっこうボードの処理</div></div><div><div>・</div><div>石綿含有せっこうボード</div><div>公共工事改修工事標準仕様書 9 章による。</div></div><div><div>・</div><div>ひ素・カドミウム含有せっこうボード</div><div><div>・</div><div>製造業者に回収委託</div></div><div><div>・</div><div>埋立処分（管理型最終処分場）</div><div>処分施設の名称・所在地（</div><div>）</div></div><div><div>・</div><div>石綿含有、ひ素・カドミウム含有以外のせっこうボード</div></div><div><div>・</div><div>再資源化（再資源化施設）</div><div>・</div><div>最終処分（管理型最終処分場）</div><div>処分施設の名称・所在地（</div><div>）</div></div></div></div></div>
TITLE 赤碕中学校自転車置場改築工事			ARCH 有限会社 アーク設計工房 一級建築士 第262287号 杉嶋 信次 TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599 琴浦事務所
解体 特記仕様書（１） NO SCALE			
NO. A - 3 DRAWING NO. 2023.1			

	<div>⑥</div> <div>技能士 [1 . 6 . 2]</div>	<div>下表により適用する技能士は、適用する工事作業中、 1 名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う。 (技能士：職業能力開発促進法による一級技能士又は単一等級の資格を有する者) また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札 (下図参考) を常時着用する。</div> <table><tr><td>工事種目</td><td>技能検定職種</td><td>技能検定作業</td></tr><tr><td>仮設工事</td><td>とび</td><td>⊙ とび作業</td></tr></table> <div>《技能士名札参考図》 </div>	工事種目	技能検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	⊙ とび作業	<div>②</div> <div>仮設工事</div>	<div>1</div> <div>騒音・粉じん等の対策 < 2 . 2 . 2 ></div>	<div>設ける (適用範囲、高さ等は図示) ・ 防音パネル ・ 防音シート ・ 設けない</div>	<div>2</div> <div>足場その他 < 2 . 2 . 2 ></div>	<div>足場を設ける場合は、標準仕様書 2 . 2 . 4 (b) によるほか、設置においては「手すり先行工法による。足場の組立て等に関する基準」の 2 の (2) 手すり据置方式、または (3) 手すり先行専用足場方式により行う。 ・ 内部足場の種別 脚立、足場板等 ・ ⊙ 外部足場の種別 ・ 枠組足場 ⊙ くさび緊結式足場 ・ 単管本足場 ・ 仮設ゴンドラ ・ 移動式足場 ⊙ 外部足場の防護シート ⊙ 設置する ・ 設置しない ⊙ 材料、撤去材等の運搬方法 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種 ⊙ 受注業者の施工計画による</div>	<div>3</div> <div>監督職員事務所 < 2 . 3 . 1 ></div>	<div>設けない ・ 既存建物内の一部を使用する (場所) ・ 構内に新設する 規模 (m²) ・ 備え付けの備品 () ⊙ 工事表示板 ・ お願表示板</div>	<div>4</div> <div>表示板</div>	<div></div>													
工事種目	技能検定職種	技能検定作業																												
仮設工事	とび	⊙ とび作業																												
	<div>7</div> <div>完成写真</div>	<div>下記のものを監督職員に提出する</div> <table><tr><td>区 分</td><td>分類・規格</td><td>撮影箇所</td><td>部数</td><td>原版の大きさ (mm)</td></tr><tr><td>⊙ 工事記録写真</td><td>カラーサービス判</td><td>各工種の工程毎</td><td>1 部</td><td>・ 2 4 x 3 6 以上</td></tr><tr><td>完成写真</td><td>カラーサービス判</td><td>・ 自転車置場</td><td>1 部</td><td>・ 2 4 x 3 6 以上</td></tr><tr><td>・</td><td>カラーキャビネ判</td><td>・ 箇所</td><td>部</td><td>・ 2 4 x 3 6 以上</td></tr></table> <div>・ 電子データ及びネガの提出 [工事記録写真] (・ 要 ・ 不要) ・ 電子データ及びネガの提出 [完成写真] (・ 要 ・ 不要)</div>	区 分	分類・規格	撮影箇所	部数	原版の大きさ (mm)	⊙ 工事記録写真	カラーサービス判	各工種の工程毎	1 部	・ 2 4 x 3 6 以上	完成写真	カラーサービス判	・ 自転車置場	1 部	・ 2 4 x 3 6 以上	・	カラーキャビネ判	・ 箇所	部	・ 2 4 x 3 6 以上	<div>8</div> <div>完成時の提出図書</div>	<div>下記のものを監督職員に提出する。 ・ 原図 A 1 版又は A 2 版 (設計図の第 2 原図訂正不可) 部 ・ C A D データ 部 ・ 原図の大型コピー (白焼) の 2 つ折製本 部 ・ 縮小版 2 つ折製本 (A 4 版) 部 ・ 複写 縮小版 A 3 パラ焼 部 完成図の種類及び内容 (改修前後の状態が分かるように整備する。) ・ 案内図・配置図 : 配置図には外構整備、屋外給排水系統図含む。 ・ 残存物等図 ・ 原図ケース・製本図面の背表紙に「施設コード・部局名称」ラベルを貼付ける。</div>	<div>9</div> <div>施工図及び施工計画書</div>	<div>提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。</div>	<div>10</div> <div>火災保険等</div>	<div>工事目的物及び工事材料等工事施工途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。 (保険の加入期間は、工事完成引き渡しまで (概ね工期 + 2 1 日) とする。)</div>	<div>11</div> <div>建設リサイクル法</div>	<div>対象工事 ・ 非対象工事</div>
区 分	分類・規格	撮影箇所	部数	原版の大きさ (mm)																										
⊙ 工事記録写真	カラーサービス判	各工種の工程毎	1 部	・ 2 4 x 3 6 以上																										
完成写真	カラーサービス判	・ 自転車置場	1 部	・ 2 4 x 3 6 以上																										
・	カラーキャビネ判	・ 箇所	部	・ 2 4 x 3 6 以上																										
		HEAD	CHIEF	DRAW	TITLE	赤 碕 中 学 校 自 転 車 置 場 改 築 工 事		ARCH 有 限 公 司 一級建築士 第 2 6 2 2 8 7 号 杉 嶋 信 次 琴 浦 事 務 所 TEL 0858-52-3599 / FAX 0858-52-3599	NO . A - 4 DRAWING NO 2023.1																					
						解 体 特 記 仕 様 書 (2)				NO SCALE																				

③ 解体施工	1	事前措置 <3.2.1>	浄化槽、排水槽等の汚水及び汚物の回収、洗浄、消毒等 ・ 行う（箇所） ・ 行わない		2	産業廃棄物広域認定 制度の活用 <4.4.2>	再資源化し現場で利用する建設廃棄物			
	2	杭 <3.9.2>	杭の解体 ・ 行う（杭頭から mまで ・全長） ・ 行わない 杭の解体工法 ・ 引き抜き工法（ ・ 振動 ・ ケーシング） ・ 破碎による解体				種 類	利用する箇所		
	3	樹木等 <3.10.1>	草（樹木）の伐採伐根及び移植 隣接地よりの樹木等は協議による ・ 行う（ ・ 伐採 ・ 伐根）（図示による） ・ 行わない							
種 類				利用する箇所						
4	地下埋設物及び埋設配管 <3.11.1>	地下埋設物及び埋設配管の解体 ・ 行う（図示による） ・ 行わない								
⑤	埋戻し、盛土及び整地 <3.12.1>(<3.2.3>)	解体後の埋戻し及び盛土 ⊙ 行う ・ 行わない 埋戻し及び盛土の材料 ・ A種 ⊙ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 町保有黒土 整地の高さ ・ 現状G L ⊙ 図示による								
④ 建設廃棄物の処理	①	再資源化等 <4.4.1>	建設副産物の搬出先として、以下の施設への搬出を見込んでいる。これは、他の施設への搬出を妨げるものではない。なお、搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うものとする。							
			建設廃棄物の種類	中間処理施設又は再資源化施設の名称等		所在地（km）				
			⊙コンクリート	現場説明書による ⊙ 野口運送						
			⊙アスファルト・コンクリート	現場説明書による ⊙ 野口運送						
			⊙木材	現場説明書による ⊙ 赤碕トランスネット						
			⊙金属類	現場説明書による ⊙ 東和資料						
			・ 小形二次電池							
			建設廃棄物の種類	再資源化の有無	再資源化施設の名称等		所在地（km）			
			・ 蛍光ランプ HIDランプ							
			・ 硬質塩化ビニル管 及び継手							
			・ ガラス							
			・ 木材を指定建設資材廃棄物として処理する。							
				5 特別管理産業廃棄物の処理	1 施工調査 <5.1.2>					
材 料 名	仕様等（型式、厚さ、数量）					調査の範囲				
						図示 ・ 工事対象範囲				
2 特別管理産業廃棄物の処分等 <5.1.3><5.4.1>	特別管理産業廃棄物の種類	処分場の名称				所在地等（km）				
	・ 廃石綿									

	HEAD	CHIEF	DRAW	TITLE	赤碕中学校自転車置場改築工事	ARCH 有限会社 一級建築士 第262287号 杉嶋 信次 TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599	A - 5 DRAWING NO 2023.1
				解体 特記仕様書（3）	NO SCALE		

5

特別管理産業廃棄物の処理

3	P C B ＜5.4.3＞＜5.4.4＞	P C Bを含む機器類・有（数量は図示）・無 P C B含有シーリング材・有（施工範囲は図示）・無 分析調査・行う P C Bを含む機器等については、監督職員の指定する箇所に保管する。 廃油・有（数量は図示）・無 廃酸・廃アルカリ ＜5.4.6＞ ダイオキシン類 ＜5.4.7＞
4	廃油 ＜5.4.5＞	
5	廃酸・廃アルカリ ＜5.4.6＞	
6	ダイオキシン類 ＜5.4.7＞	

⑥

アスベスト含有建材の除去及び処理

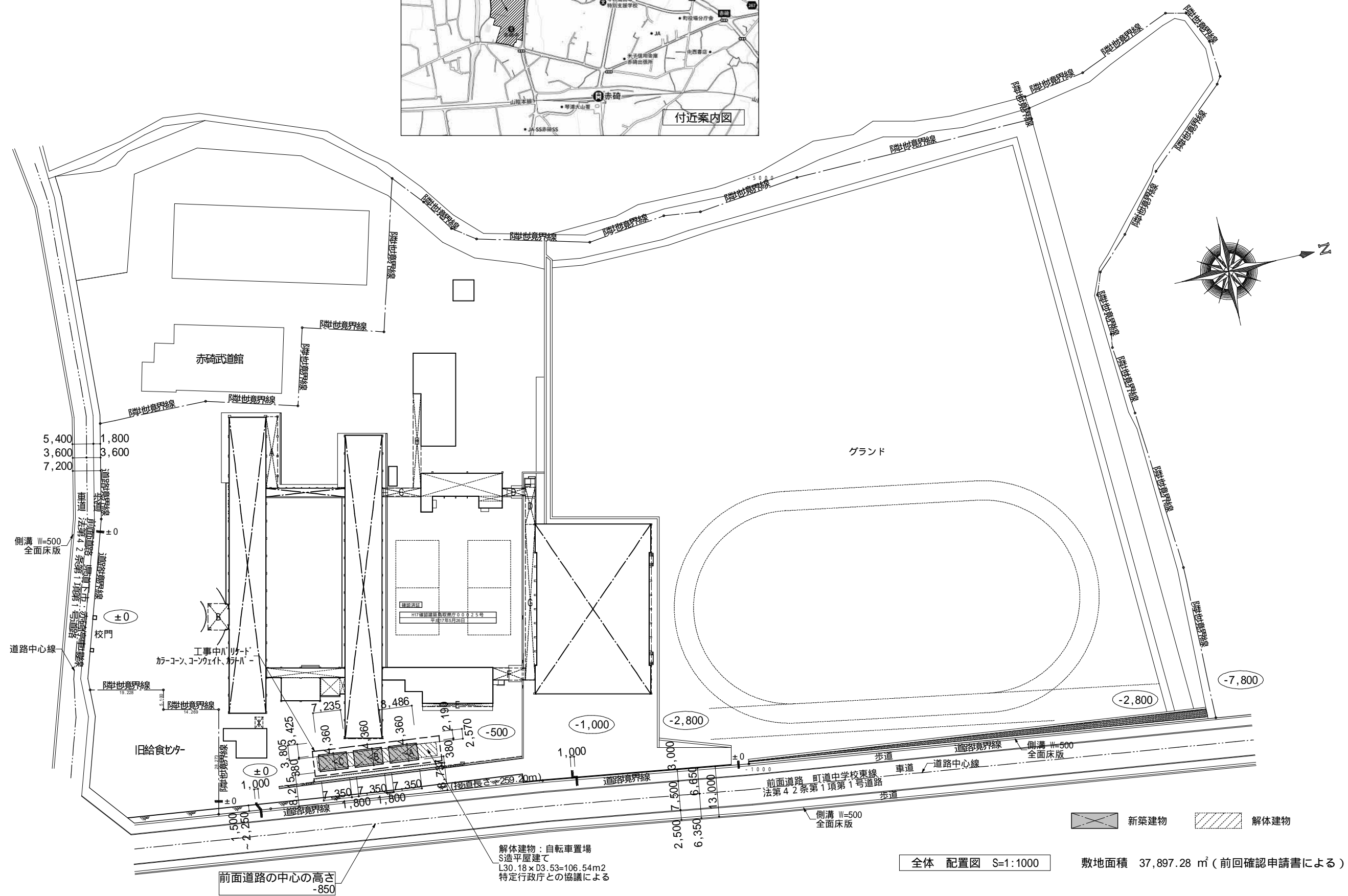
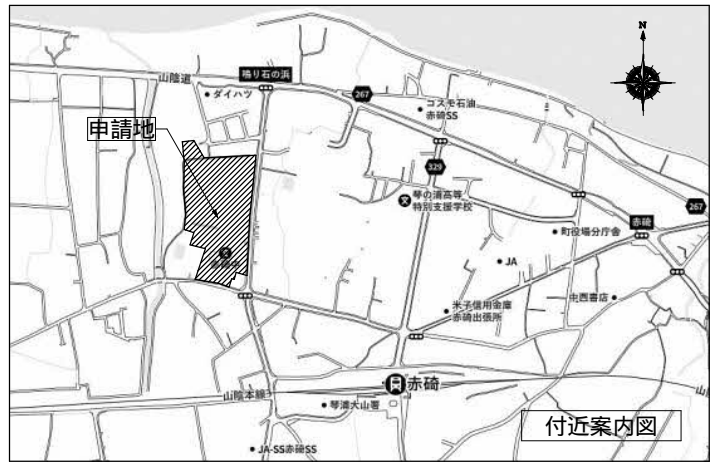
1	施工調査 ＜6.1.2＞	県有施設の石綿除去等に係る施工業者の登録制度による登録を受けている業者が工事を行う。 施工調査 ・アスベスト含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によりアスベストを含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査し、監督職員に報告する。 調査範囲（・・図示） 貸与資料（・）																																												
2	アスベスト粉じん濃度測定 ＜6.1.3＞	・分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法 J I S A 1 4 8 1 - 1又は1 4 8 1 - 2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」 ・ 分析結果については、監督職員に報告する <table><tr><th>材料名</th><th>定性分析</th><th>定量分析</th></tr><tr><td></td><td>・（箇所数：）</td><td>・（箇所数：）</td></tr><tr><td></td><td>・（箇所数：）</td><td>・（箇所数：）</td></tr><tr><td></td><td>・（箇所数：）</td><td>・（箇所数：）</td></tr></table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所・図示・ ・アスベスト粉塵濃度測定 測定時期、場所及び測定点 <table><tr><th>適用</th><th>測定名称</th><th>測定時期</th><th>測定場所</th><th>測定点（各施工箇所ごと）</th></tr><tr><td></td><td>測定 1</td><td rowspan="2">処理作業前</td><td>処理作業室内</td><td>・各 1 点 ・各 2 点 ・各 3 点</td></tr><tr><td></td><td>測定 2</td><td>調査対象室外部の付近</td><td>・各 1 点 ・各 2 点</td></tr><tr><td></td><td>測定 3</td><td rowspan="3">処理作業中</td><td>処理作業室内</td><td>・各 1 点 ・各 2 点 ・各 3 点</td></tr><tr><td></td><td>測定 4</td><td>負圧・除塵装置の排出出口吹出し風速 1 m / s e c 以下の位置</td><td>・各 1 点 ・各 2 点</td></tr><tr><td></td><td>測定 5</td><td>処理作業室外（敷地境界）</td><td>・計 1 点 ・4 方向各 1 点</td></tr><tr><td></td><td>測定 6</td><td>処理作業後（シート養生中）</td><td>処理作業室内</td><td>・各 1 点 ・各 2 点</td></tr></table>	材料名	定性分析	定量分析		・（箇所数：）	・（箇所数：）		・（箇所数：）	・（箇所数：）		・（箇所数：）	・（箇所数：）	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）		測定 1	処理作業前	処理作業室内	・各 1 点 ・各 2 点 ・各 3 点		測定 2	調査対象室外部の付近	・各 1 点 ・各 2 点		測定 3	処理作業中	処理作業室内	・各 1 点 ・各 2 点 ・各 3 点		測定 4	負圧・除塵装置の排出出口吹出し風速 1 m / s e c 以下の位置	・各 1 点 ・各 2 点		測定 5	処理作業室外（敷地境界）	・計 1 点 ・4 方向各 1 点		測定 6	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・各 1 点 ・各 2 点
材料名	定性分析	定量分析																																												
	・（箇所数：）	・（箇所数：）																																												
	・（箇所数：）	・（箇所数：）																																												
	・（箇所数：）	・（箇所数：）																																												
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定点（各施工箇所ごと）																																										
	測定 1	処理作業前	処理作業室内	・各 1 点 ・各 2 点 ・各 3 点																																										
	測定 2		調査対象室外部の付近	・各 1 点 ・各 2 点																																										
	測定 3	処理作業中	処理作業室内	・各 1 点 ・各 2 点 ・各 3 点																																										
	測定 4		負圧・除塵装置の排出出口吹出し風速 1 m / s e c 以下の位置	・各 1 点 ・各 2 点																																										
	測定 5		処理作業室外（敷地境界）	・計 1 点 ・4 方向各 1 点																																										
	測定 6	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・各 1 点 ・各 2 点																																										

7	特殊な建設副産物の処理	7	1	施工調査 ＜7.1.3＞	分析調査・行う <table><tr><th>材 料 名</th><th>分 析 方 法</th><th>調 査 の 範 囲</th></tr><tr><td></td><td></td><td>図示</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></table> 回収又は処分を行う副産物の種類 対象機器名称 回収業者又は処分場の名称等 保管場所・処分場の所在地等 ・フロン ・ハロン ・イオン化式感知器 ・六フッ化硫黄(SF6)ガス ・PFOS（ペルフルロ（オクタン-1-カルボキシ）） ・ 	材 料 名	分 析 方 法	調 査 の 範 囲			図示									
材 料 名	分 析 方 法	調 査 の 範 囲																		
		図示																		
		2	特殊な建設副産物の回収及び処分 ＜7.1.3＞																	

5

赤碕中学校自転車置場改築工事

解体 特記仕様書（４）	S NO SCALE	ARCH 有限会社 アーク設計工房 一級建築士 第262287号 杉嶋 信次 TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599	N O . A - 6 D R A W I N G N O 2023.1
-------------	------------	--	---

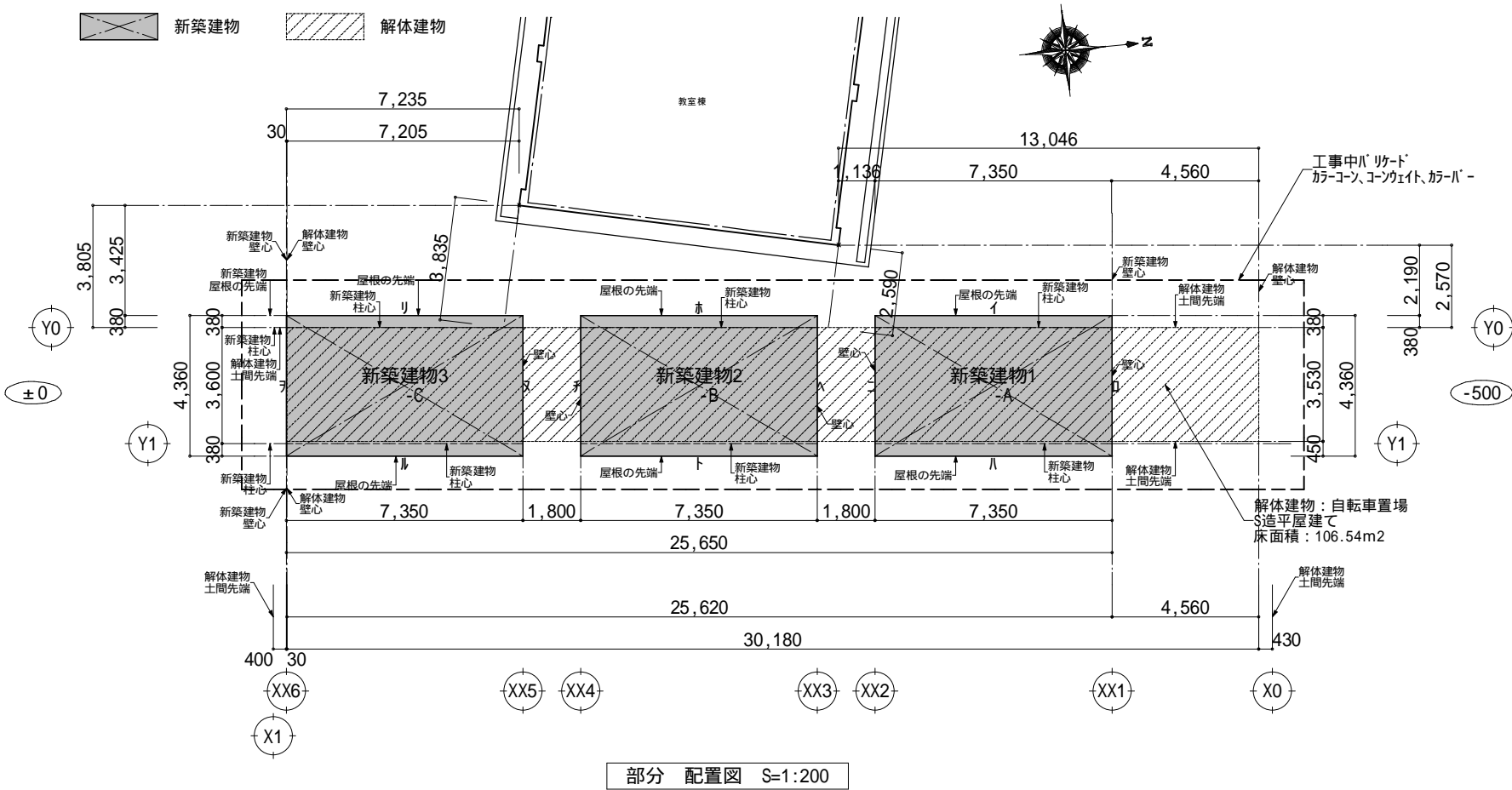


面 積 表 (単位：m2)								
敷 地 面 積		37,897.28						
		建 築 面 積	B1 床 面 積	1F 床 面 積	2F 床 面 積	3F 床 面 積	床 面 積 合 計	
既 存 建 物	管理棟	建築面積はA、B共	820.29		726.93	727.71		1,454.64
	西渡り廊下		46.13		46.13	46.13		92.26
	東渡り廊下		111.25		111.25	51.25		162.50
	ILﾊﾞｰｸ棟		30.10		30.10	29.16	27.90	87.16
	教室棟		743.85		743.85	743.85		2,231.55
	部室棟	建築面積はC、D共	213.84		156.00	133.20		289.20
	昇降口	建築面積はE、F共	259.91		218.18			218.18
	体育館	建築面積はG共	1,487.56	118.00	1,400.52	297.27		1,815.79
	技術棟	建築面積はH共	284.90		236.90			236.90
	配膳室棟	建築面積はI共	71.31		65.31			65.31
	ﾌﾟﾚﾊﾞｰ倉庫		11.22		11.22			11.22
	相撲場		29.16		29.16			29.16
	既存建物 計			4,109.52	118.00	3,775.55	2,028.57	771.75
新 築 建 物	-A 自転車置場		32.05		32.05			32.05
	-B 自転車置場		32.05		32.05			32.05
	-C 自転車置場		32.05		32.05			32.05
	新築建物 計			96.15		96.15		96.15
	全体 合計			4,205.67	118.00	3,871.70	2,028.57	771.75
解体建物(自転車置場)		S造平屋建て	106.54		106.54			106.54

新築建物 1 (13-A) 地盤面算定表				平均高さはKBMよりの高さを示し、KBM+100を設計GLとする			
符号	長さ(m)	平均高さ(m)	面積(m2)	符号	長さ(m)	平均高さ(m)	面積(m2)
イ	7.350	0.156	1.147	ハ	7.350	0.057	0.419
ロ	4.360	0.036	0.157	ニ	4.360	0.177	0.772
				合計	23.420		2.495
平均地盤面 = 2.495m2 ÷ 23.420m = 0.107m							
平均地盤面 = 設計GL+0.007m							
新築建物 2 (13-B) 地盤面算定表				平均高さはKBMよりの高さを示し、KBM+200を設計GLとする			
符号	長さ(m)	平均高さ(m)	面積(m2)	符号	長さ(m)	平均高さ(m)	面積(m2)
ホ	7.350	0.245	1.801	ト	7.350	0.167	1.227
ヘ	4.360	0.182	0.794	チ	4.360	0.230	1.003
				合計	23.420		4.825
平均地盤面 = 4.825m2 ÷ 23.420m = 0.206m							
平均地盤面 = 設計GL+0.006m							
新築建物 3 (13-C) 地盤面算定表				平均高さはKBMよりの高さを示し、KBM+290を設計GLとする			
符号	長さ(m)	平均高さ(m)	面積(m2)	符号	長さ(m)	平均高さ(m)	面積(m2)
リ	7.350	0.290	2.132	ル	7.350	0.258	1.896
ヌ	4.360	0.239	1.042	ヲ	4.360	0.309	1.933
				合計	23.420		7.003
平均地盤面 = 7.003m2 ÷ 23.420m = 0.299m							
平均地盤面 = 設計GL+0.009m							

工事における特記事項

1. 工事中はﾊﾞﾘｰｸﾞｰﾄﾞにて工事範囲と一般部を分離し関係者の安全に留意すること。
2. 工事部分と教室棟の間に污水管及び污水枡が存在しているため
施工に当たっては破損しないように充分留意すること。
3. 既存自転車置場の土間、基礎解体においては地盤面下の構造を示す
現状図面が存在していないため、想定した断面としている。
著しい違いが見られる場合は発注者、監理者、受注者にて協議する。
4. 自転車置場の新築に際しては隣棟間による延焼線は発生しない。
特定行政庁との協議による。
5. 工事日程等については発注者及び学校と協議を行うこと。



新築建物 建築面積計算 特定行政庁との協議による

1棟当り：7.35×4.36 = 32.046 32.05m2

3棟合計：32.05×3 = 96.15m2

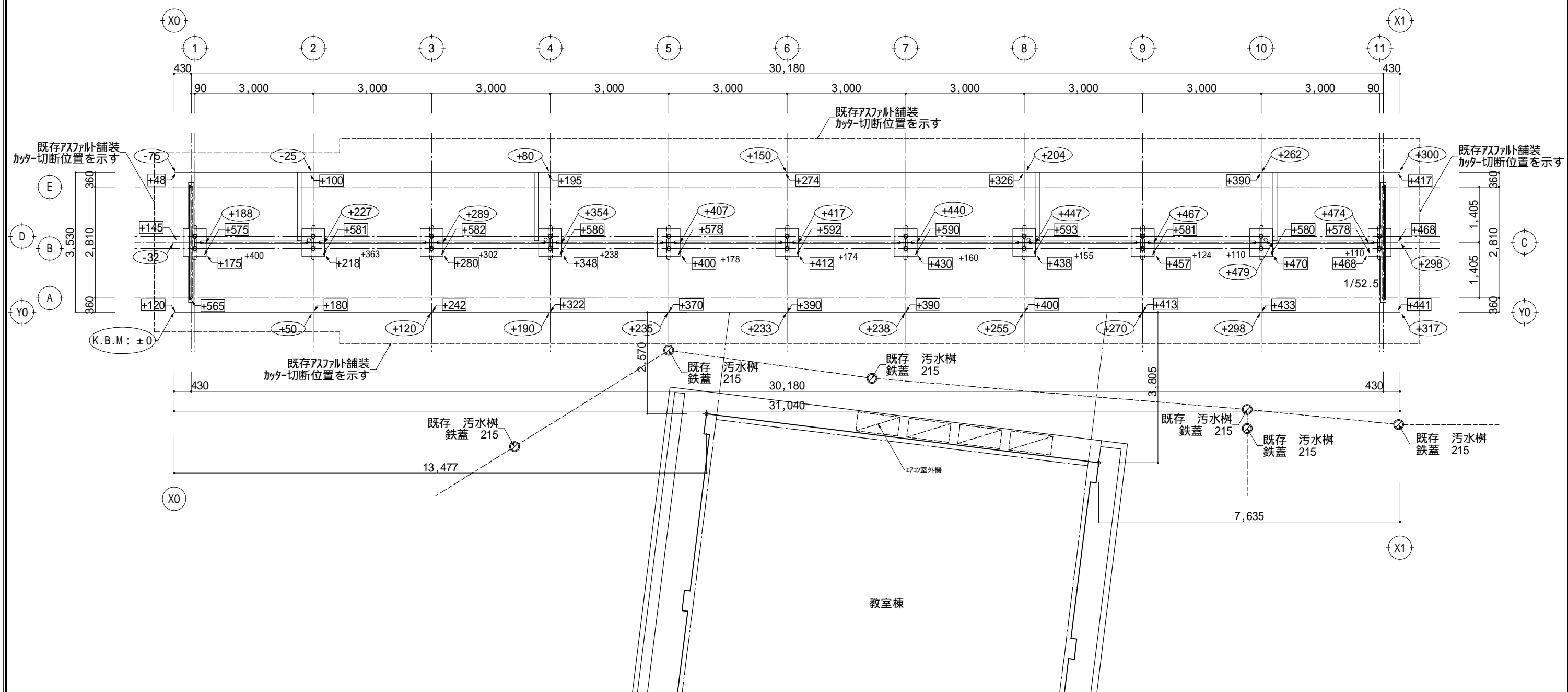
新築建物 床面積計算 特定行政庁との協議による

1棟当り：7.35×4.36 = 32.046 32.05m2

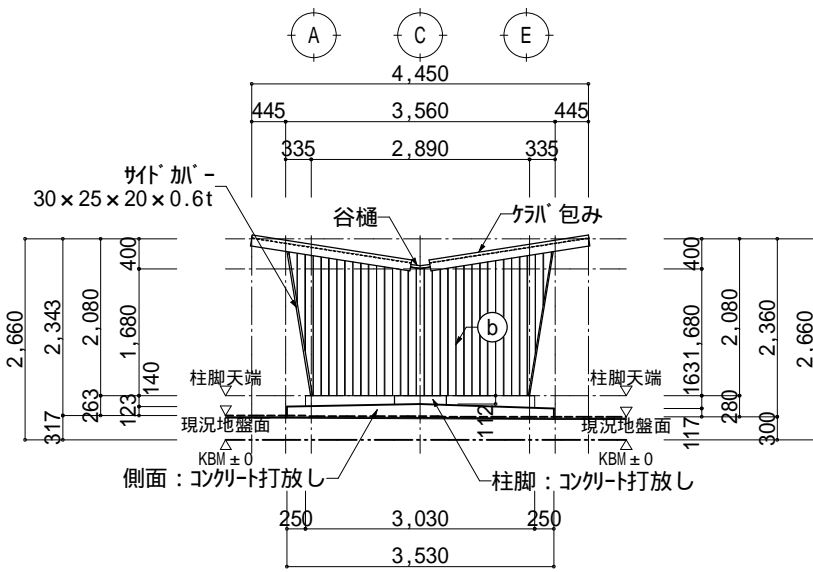
3棟合計：32.05×3 = 96.15m2

解体建物 床面積計算 特定行政庁との協議による

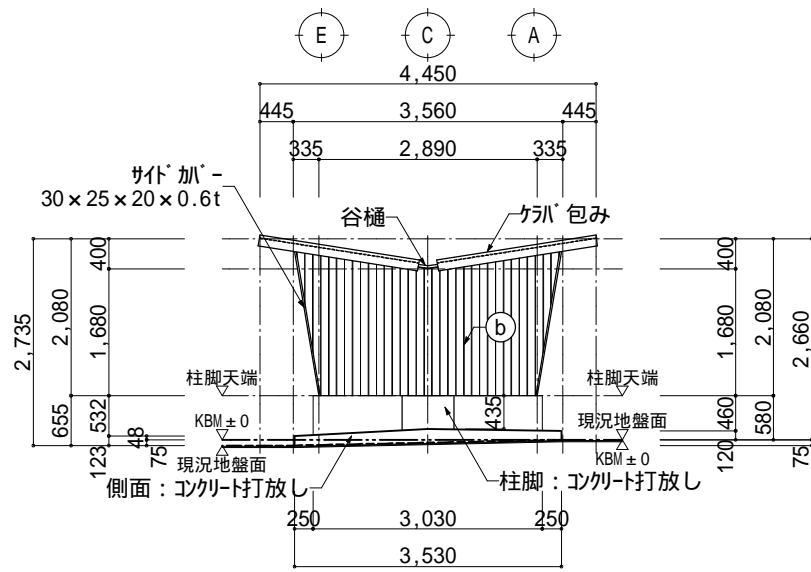
30.18×3.53 = 106.535 106.54m2



				TITLE	赤碕中学校自転車置場改築工事	ARCH 有限会社 アーク設計工房 一級建築士 第262287号 杉嶋 信次 琴浦事務所 TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599	NO.	A - 9
				S	S=1:100		DRAWING NO	2023.1

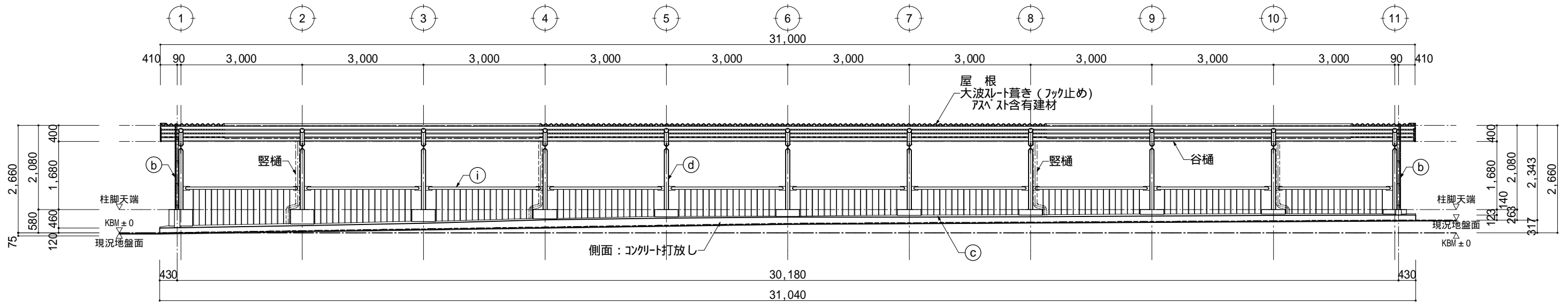


既存 南面立面図 S=1:100

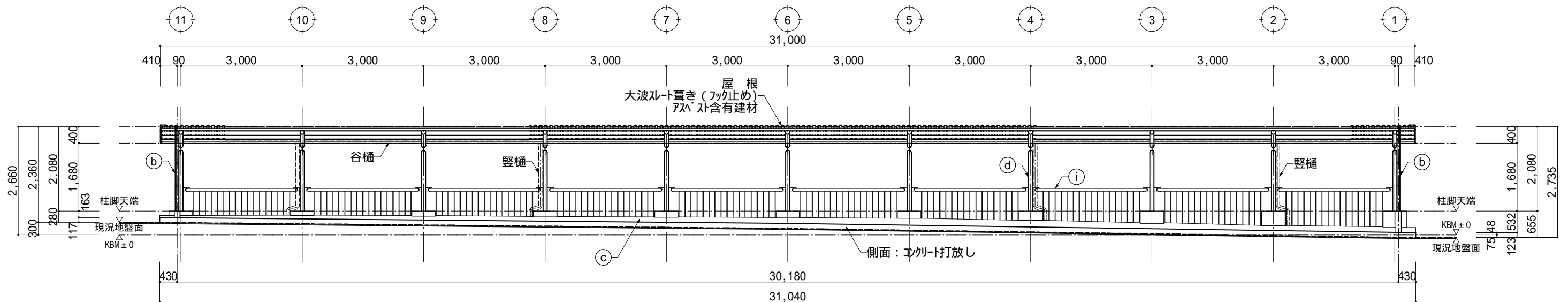


既存 北面立面図 S=1:100

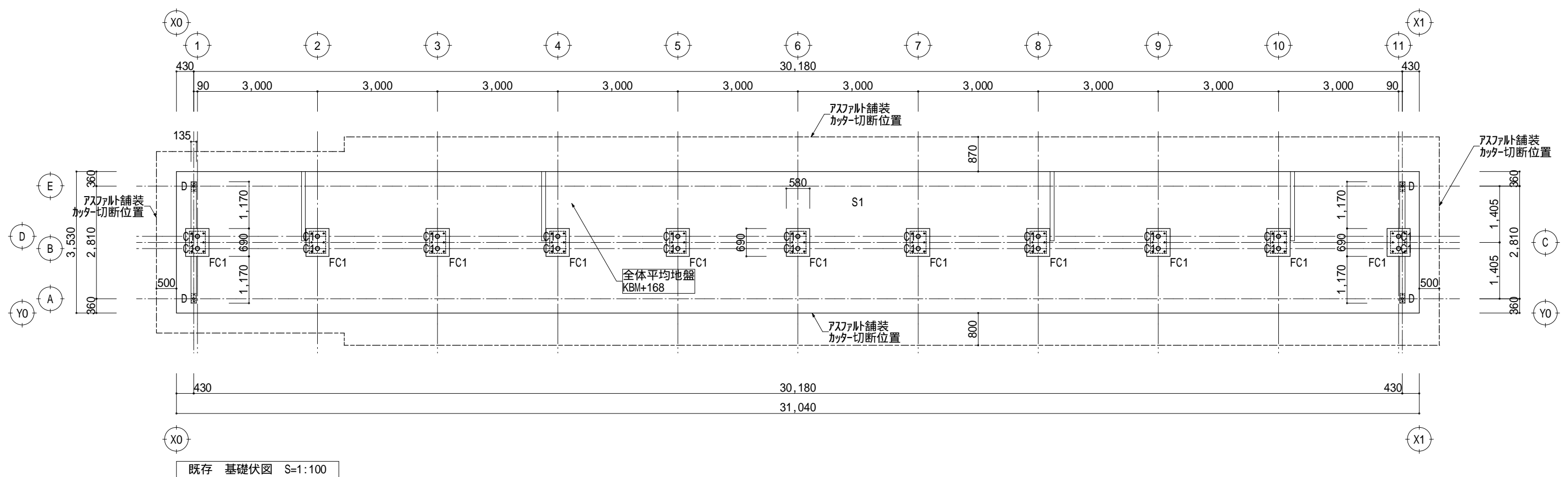
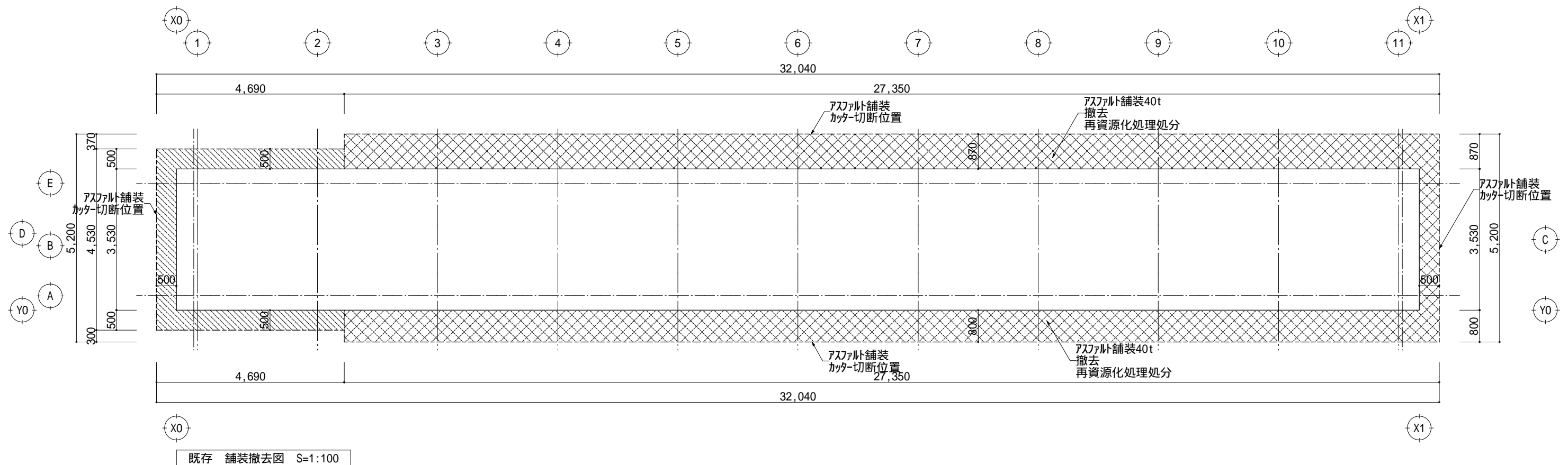
仕 上 表		
(a)	屋 根	大波スーﾄ葺き (ﾌｯｸ止め) ﾏｽﾍﾞﾙ ﾏｲﾙ含有建材 ケﾊﾞ 包み : GL鋼板0.6t × W200 × H150程度
(b)	外 壁	杉板8t縦張り、ｺﾝｸﾘｰﾄ12t下地、立上り部 : ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し サイド 加 : GL鋼板30 × 25 × 20 × 0.6t
(c)	床	ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞｼﾞ仕上 ｺﾝｸﾘｰﾄ200t、側面 : ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 柱脚 : ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し
(d)	柱	101.6 × 5.7、ﾏｯｷ仕上 ﾏﾞｷ PL-6 × D100 (2段) B.PL-12 × 350 × 550、A.BOLT 6-M16
(e)	梁	101.6 × 5.7、ﾏｯｷ仕上
(f)	母 屋	60.5 × 3.2、ﾏｯｷ仕上 G.PL-6 × 100 × 130
(g)	胴 縁	60.5 × 3.2、ﾏｯｷ仕上 縦部 : B.PL-9 × 100 × 230、A.BOLT 2-M12
(h)	樋	谷樋 : GL鋼板0.6t加工、受 : FB-4.5 × 32@375 縦樋 : VU100 (自在ﾄﾚｲ共) 4ヶ所
(i)	仕切り柵	60.5 × 3.2、ﾏｯｷ仕上 縦格子 : 12 × 17本/1ｽﾊﾟﾝ



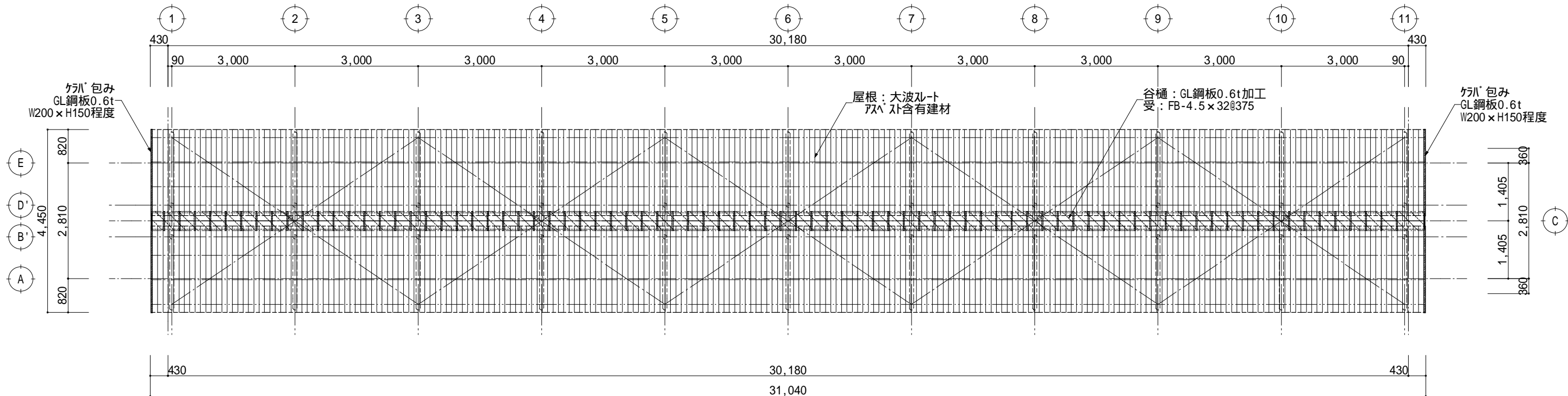
既存 西面立面図 S=1:100



既存 東面立面図 S=1:100

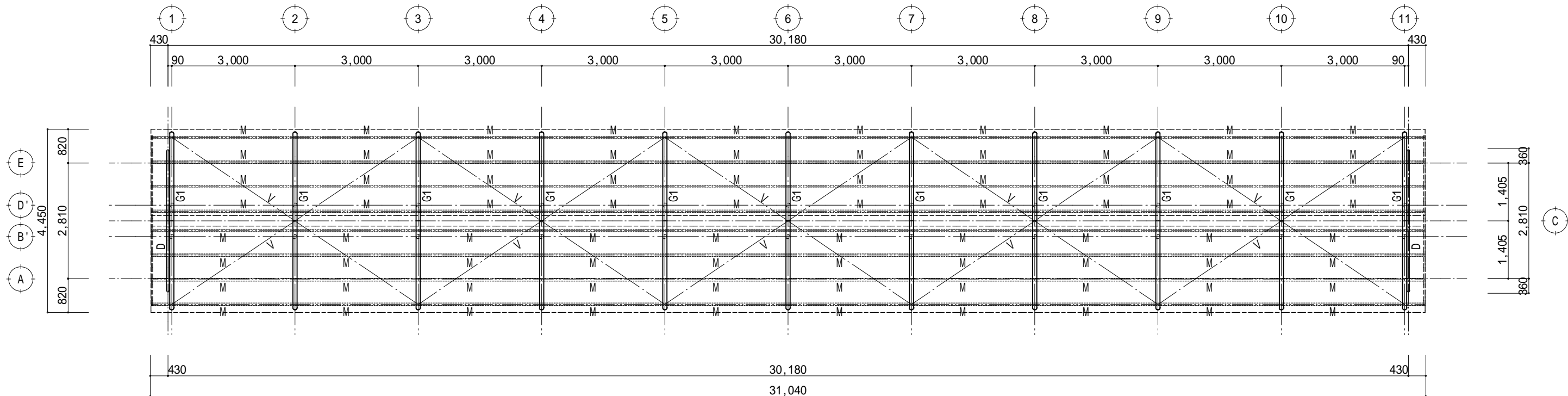


	HEAD	CHIEF	DRAW	TITLE 赤碕中学校自転車置場改築工事	ARCH <small>有限会社 アーク設計工房</small> 一級建築士 第262287号 杉嶋 信次 琴浦事務所 TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599	No. A - 11
				S S=1:100		DRAWING NO. 2023.1



既存 屋根伏図 S=1:100

C1	柱	101.6×5.7、ㄆ仕上 ㄆ PL-6×D100 (2段)、G.PL-6、H.T.B 2-M16 B.PL-12×350×550、A.BOLT 6-M16	D	胴縁	60.5×3.2、ㄆ仕上 G.PL-6、H.T.B 2-M16 縦部: B.PL-9×100×230、A.BOLT 2-M12
G1	梁	101.6×5.7、ㄆ仕上、G.PL-6、H.T.B 2-M16	V	小屋ブレス	1-M12、F.B-6×38、G.PL-6、H.T.B 1-M16
M	母屋	60.5×3.2、ㄆ仕上 G.PL-6、H.T.B 2-M16			



既存 小屋伏図 S=1:100

HEAD

CHIEF

DRAW

TITLE

赤碕中学校自転車置場改築工事

既存解体 小屋・屋根伏図

S=1:100

ARCH

有限会社 アーク設計工房

一級建築士 第262287号 杉嶋 信次

TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599

NO.

A - 12

DRAWING NO

2023.1

構造耐力上主要な部分の部材

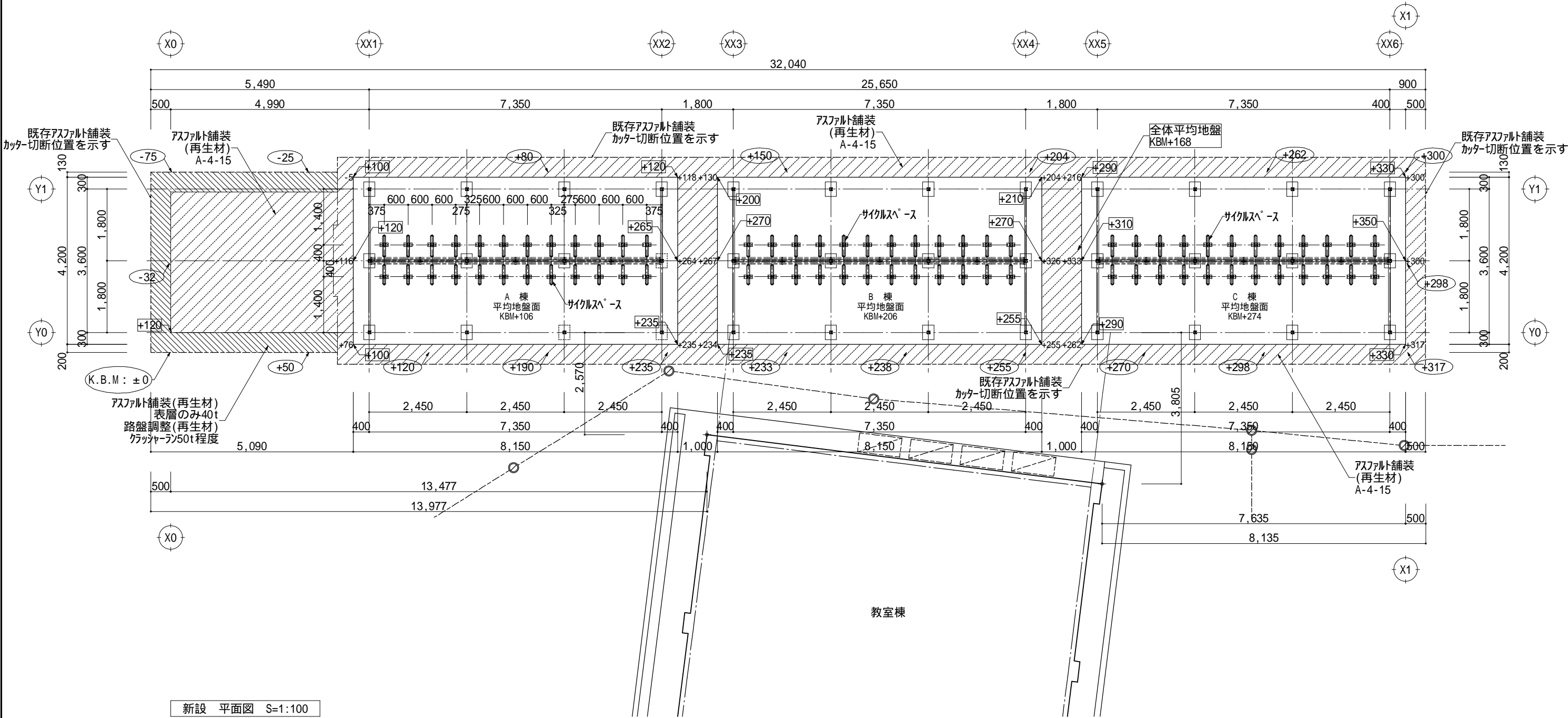
部材表	形状	板厚	使用材料	有効細長比
柱	□ — 65 x 65	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	98.6
梁	□ — 75 x 65	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	—
桁	□ — 100x75x20	2.3mm	塗装溶融亜鉛めっき鋼板	—
壁	ヨド角波サイディング800N型	0.4mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC	—

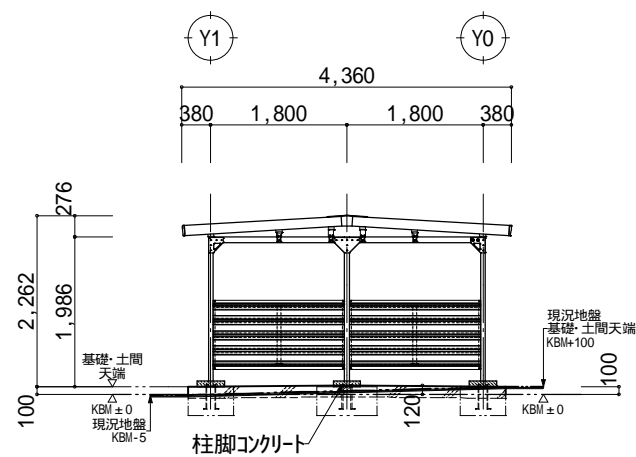
※自転車置場（1棟当り）：ヨドコウ YOKCS-245MA（基本棟、追加棟×2棟） 同等品とする

※サイクルスぺース（1棟当り）：ヨドコウ CRR-400（独立型低床タイプ）×24ヶ所 同等品とする

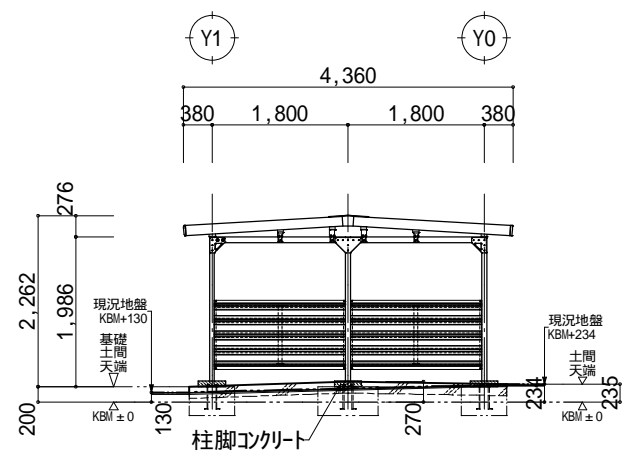
構造耐力上主要な部分以外の部材

部材表	形状	板厚	使用材料
間柱	□ — 50 x 20	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
胴縁	□ — 70 x 48	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
車止め	□ — 32 x 32	1.6mm	JIS G3312 塗装溶融亜鉛めっき鋼板 CGCC
屋根	ヨドルーフ 66	0.5mm	JIS G3322 塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板 CGLCC
建築面積 26.46 m ² /棟			（間口柱芯寸法）×（奥行柱芯寸法）

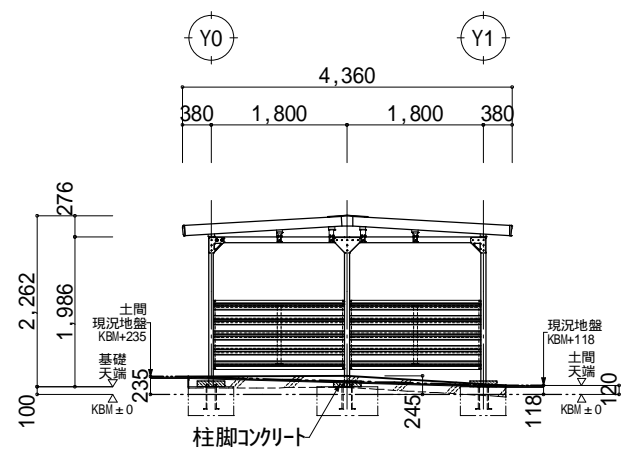




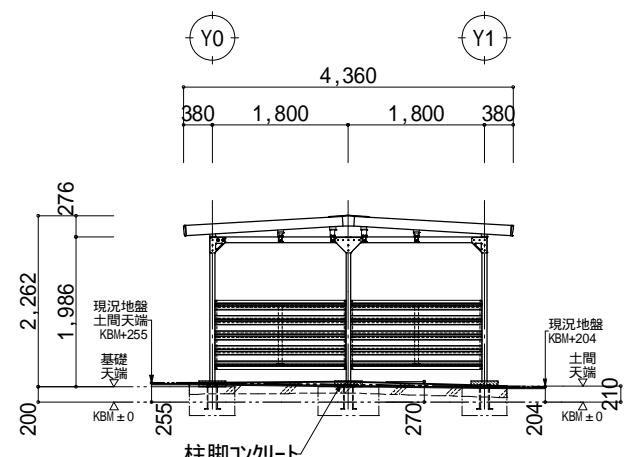
A棟 北面立面図 S=1:100



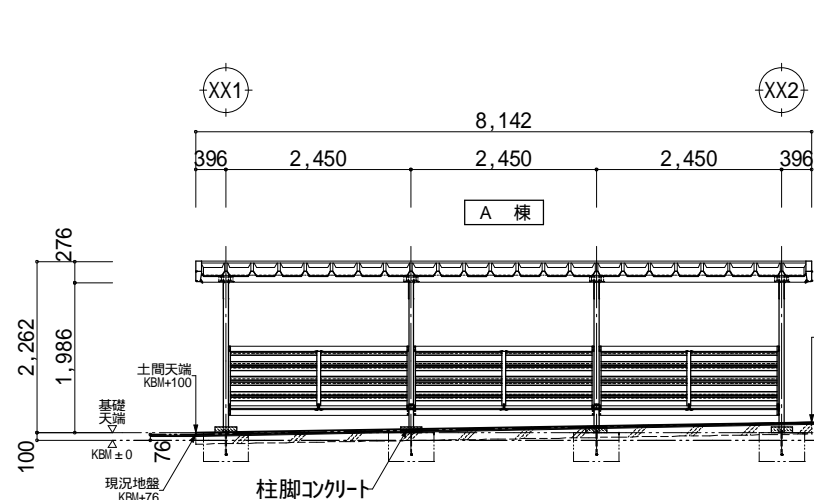
B棟 北面立面図 S=1:100



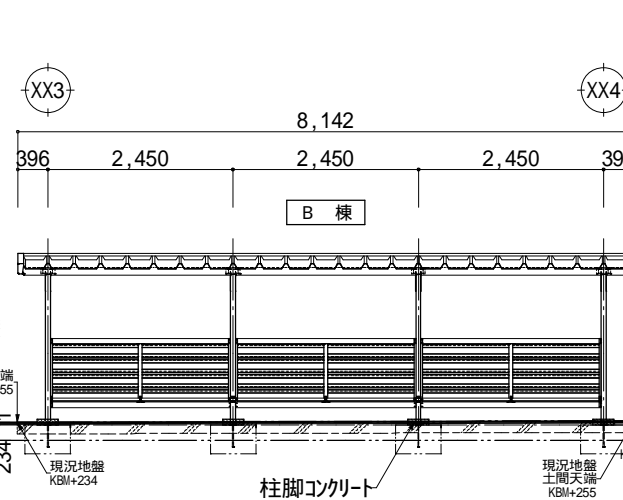
A棟 南面立面図 S=1:100



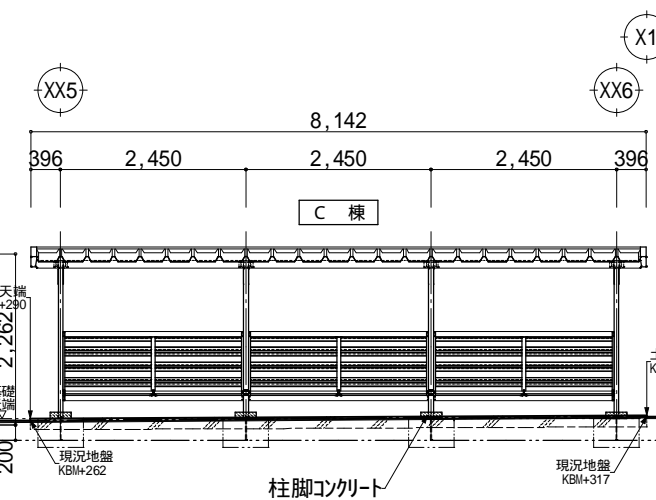
B棟 南面立面図 S=1:100



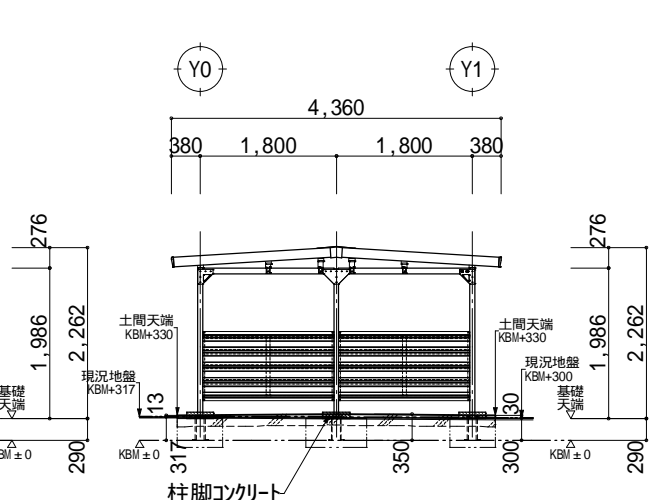
新設 西面立面図 S=1:100



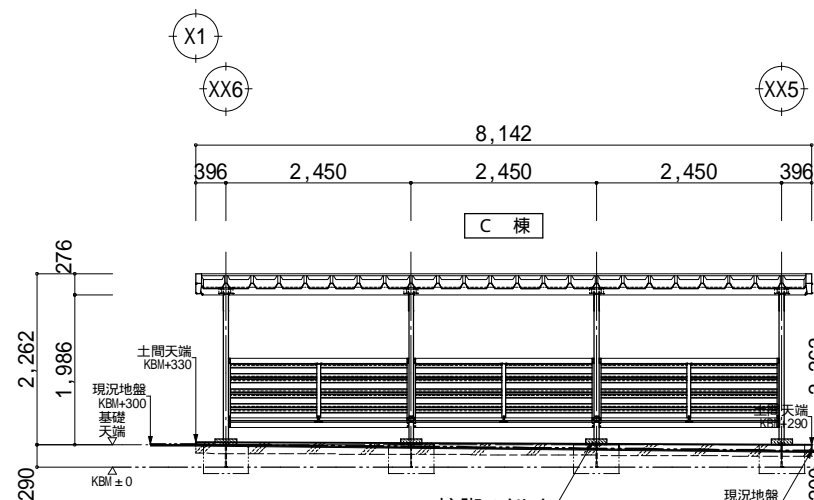
B棟



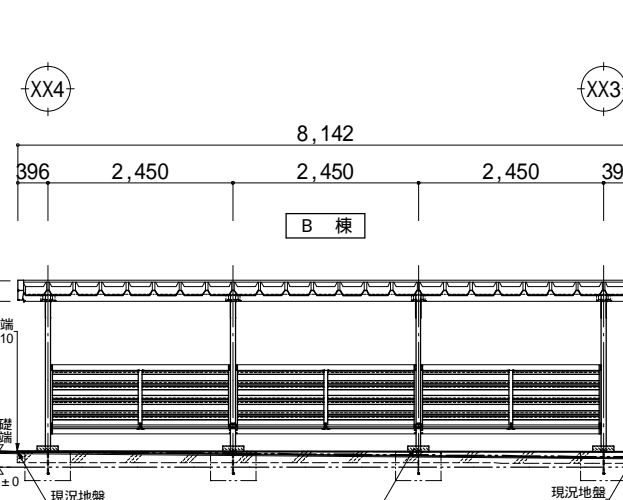
C棟



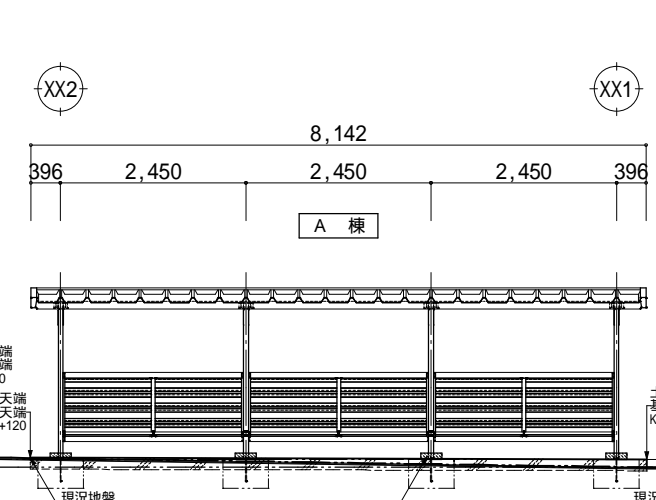
C棟 南面立面図 S=1:100



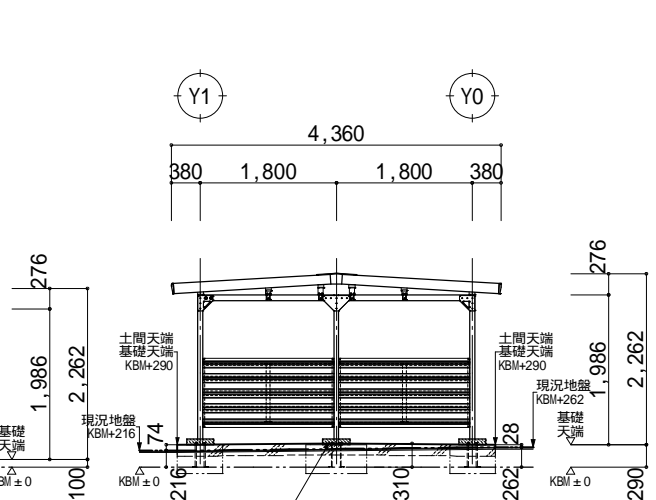
新設 東面立面図 S=1:100



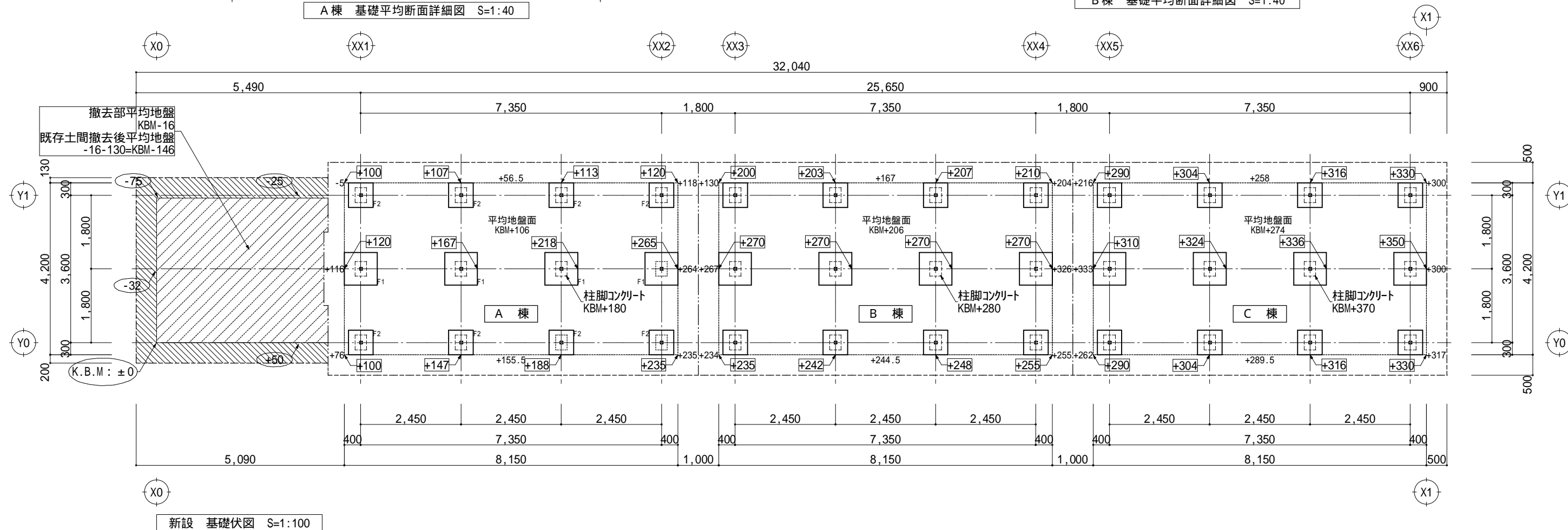
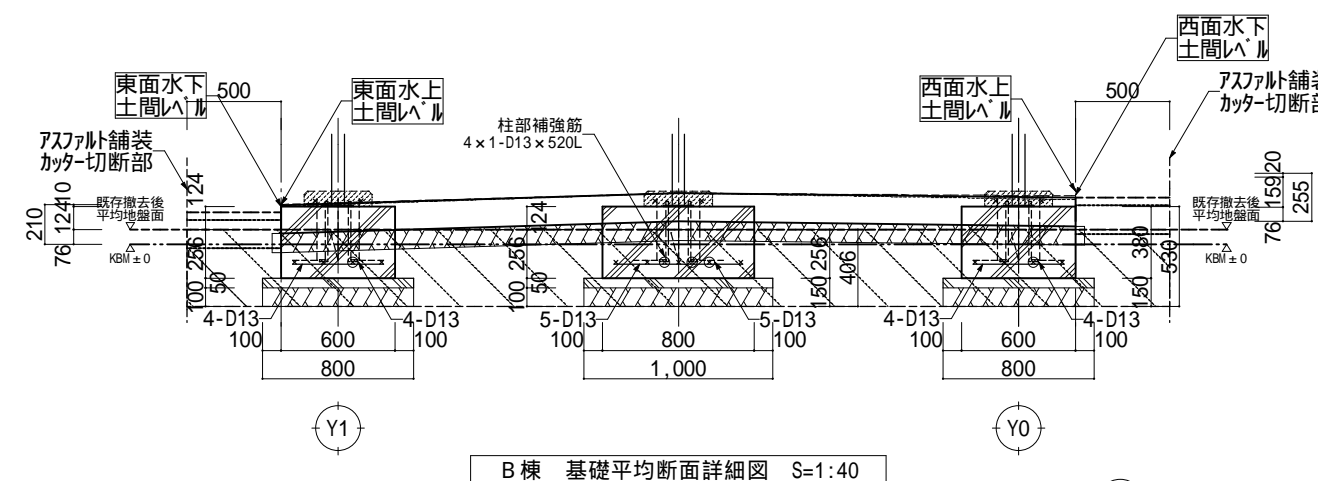
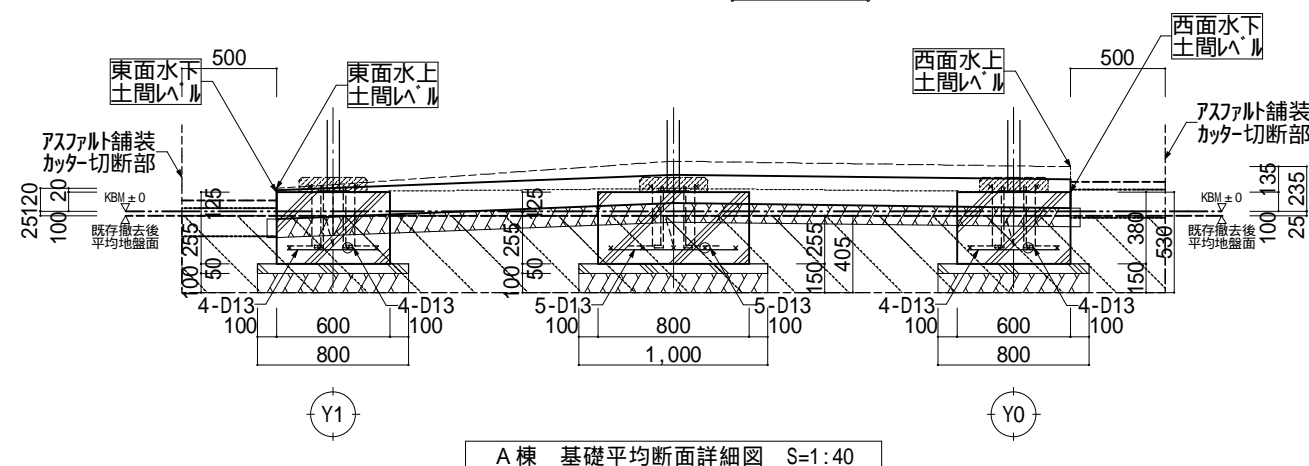
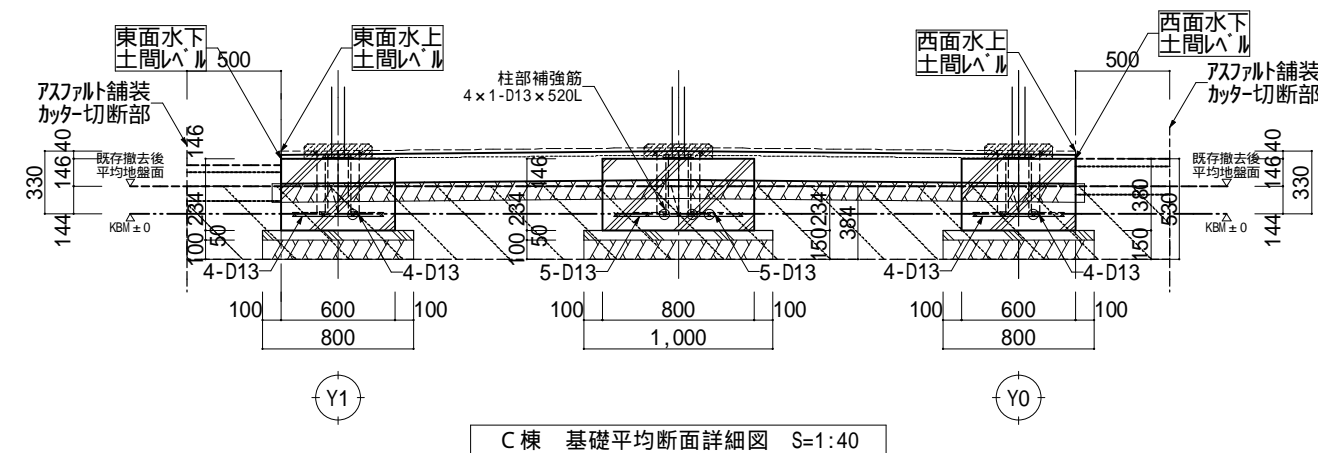
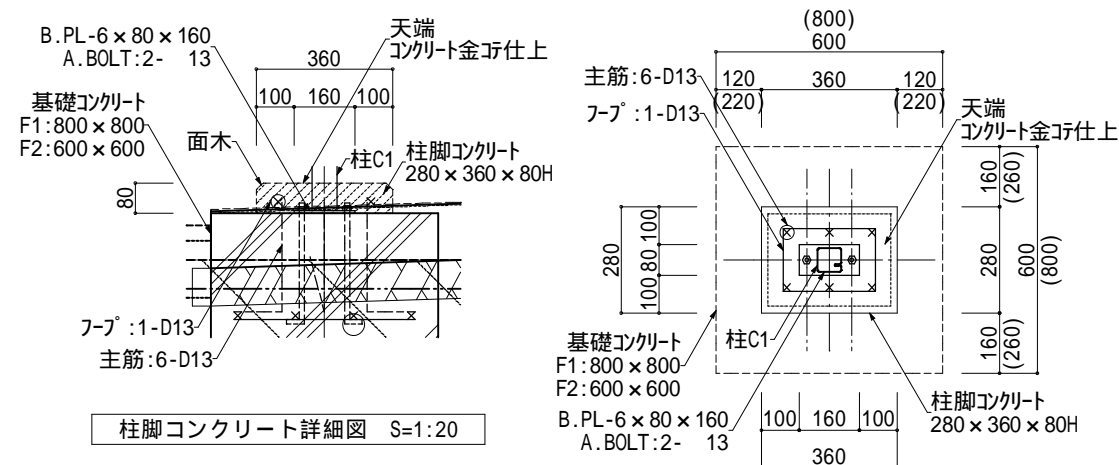
B棟

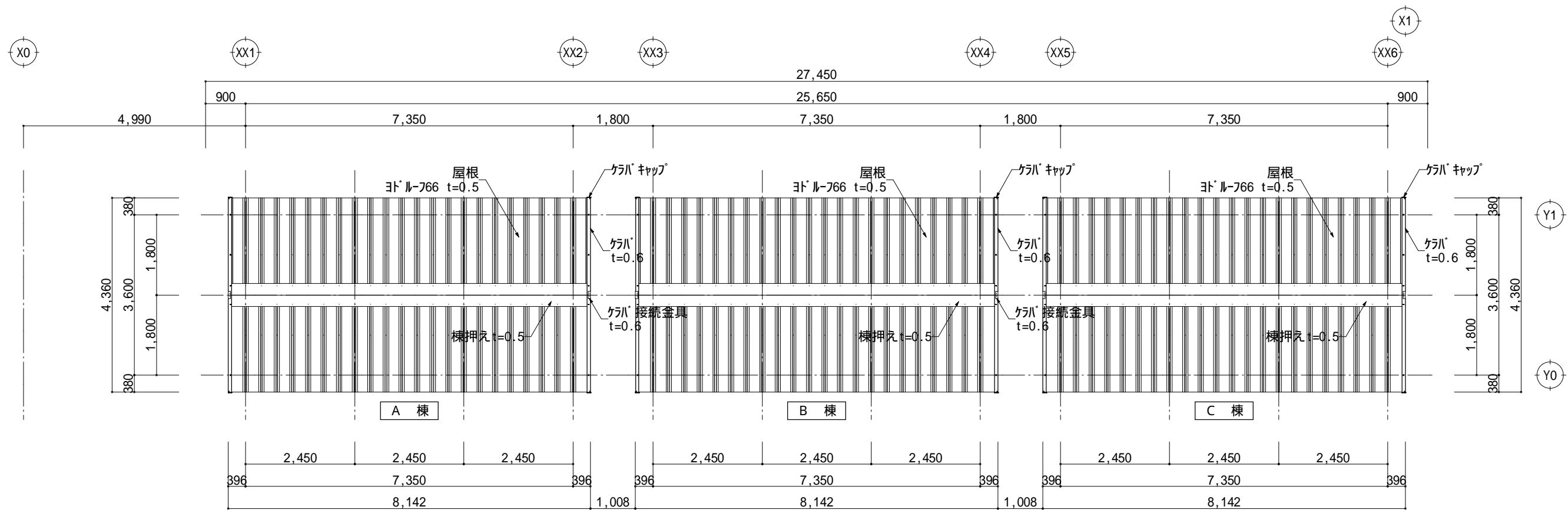


A棟

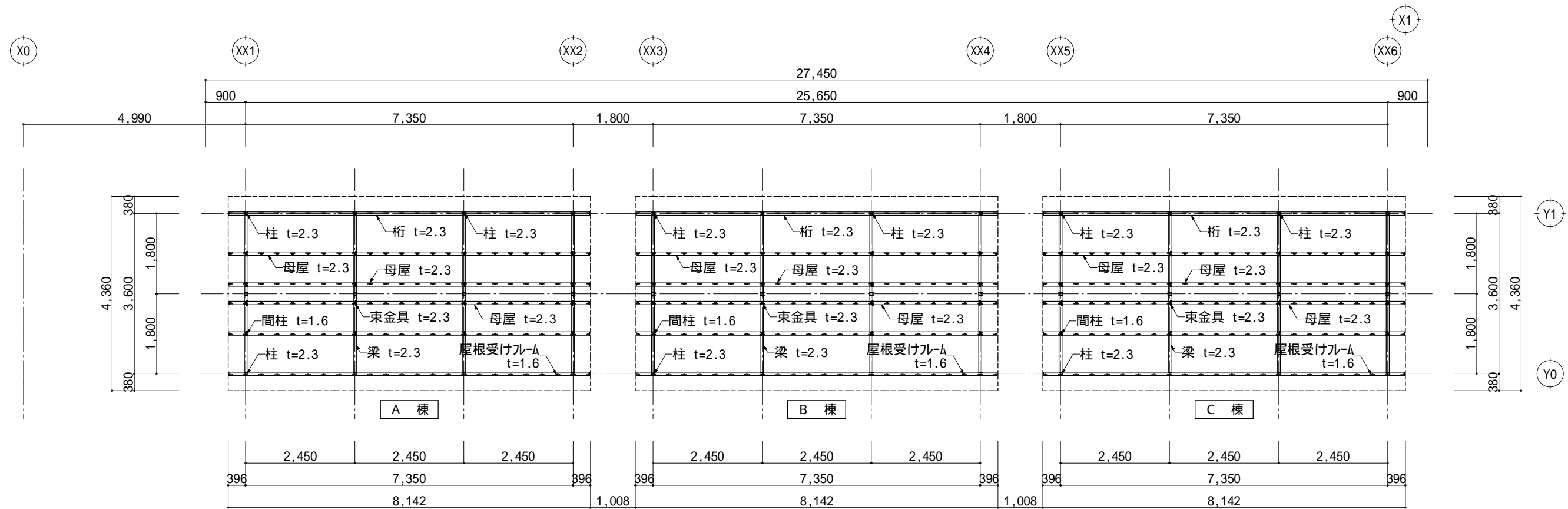


C棟 北面立面図 S=1:100



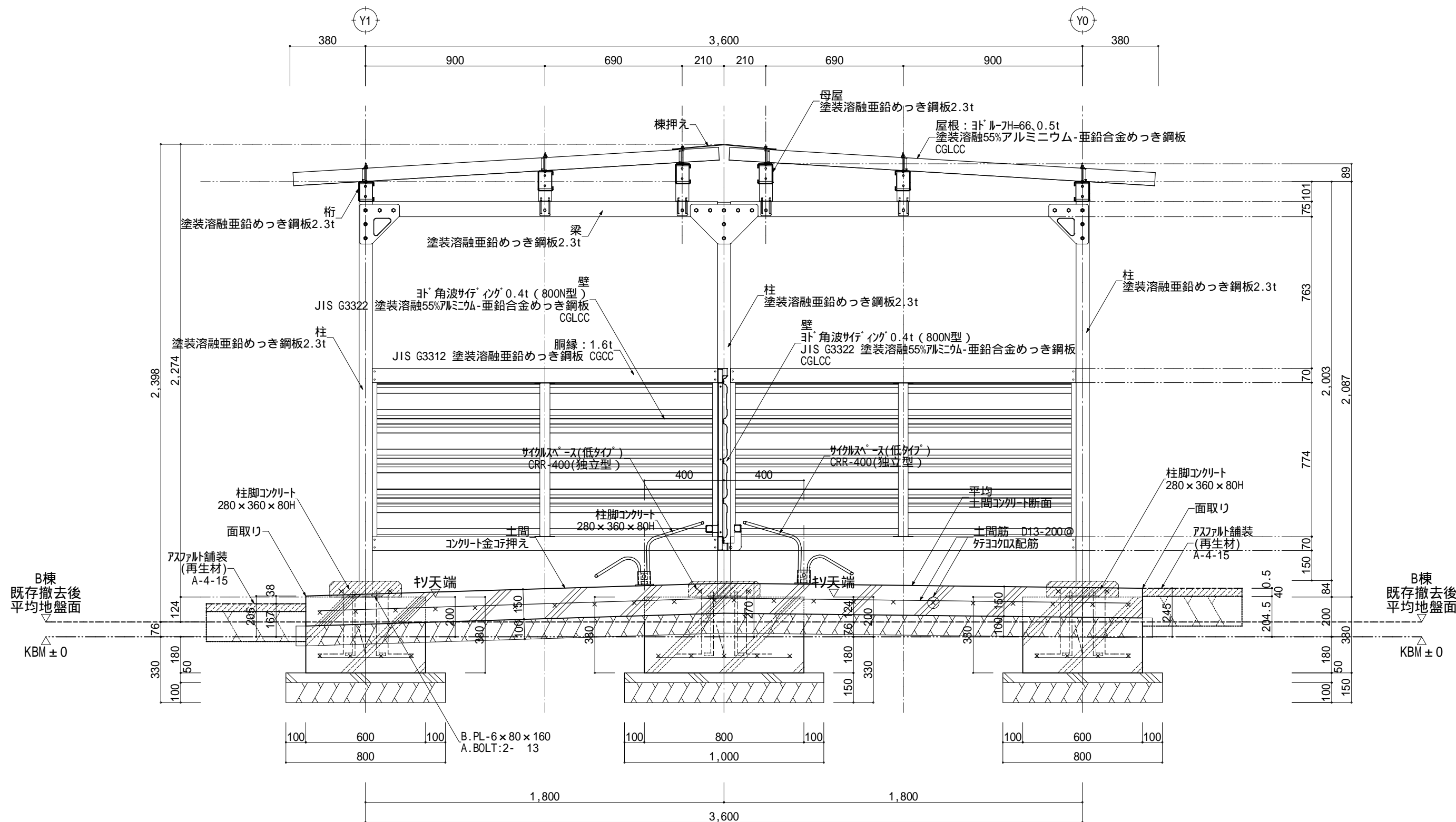


新設 屋根伏図 S=1:100



新設 小屋伏図 S=1:100

※自転車置場（1棟当り）：ヨドコウ YOKCS-245MA（基本棟、追加棟×2棟） 同等品とする
※サイクルスペース（1棟当り）：ヨドコウ CRR-400（独立型低床タイプ）×24ヶ所 同等品とする



B棟 矩計図 S=1:20

HEAD	CHIEF	DRAW	TITLE
			赤碕中学校自転車置場改築工事
			新設 矩計図

ARCH	有限会社	アーク設計工房	NO. A - 18
		一級建築士 第262287号 杉嶋 信次	DRAWING NO. 2023.1
		琴浦事務所	TEL 0858-52-3599/FAX 0858-52-3599